

2009年5月12日

各位

会社名 株式会社エヌジェーケー  
代表者名 取締役社長 谷村 直志  
(コード番号:9748 東証2部)

## DataNatureが新機能を搭載しバージョンアップ

～簡単ボタン操作のBIソリューション～

株式会社エヌジェーケー(本社:東京都目黒区)は、コストパフォーマンスの高さで定評のある、簡単操作のBIソリューション「DataNature/E」(データネイチャーエンタープライズ)について、Webブラウザ上でもグラフからドリルダウン分析ができる機能やPDF出力機能など、43項目にわたる機能強化を施したマイナーバージョンアップ製品「DataNature/E ver3.2」を2009年8月中旬(予定)に発売いたしますので、お知らせいたします。(バージョンアップの詳細は別紙をご参照ください)

BI(ビジネスインテリジェンス[企業が自社の様々なシステムに蓄積された膨大なデータを抽出、検索、分析し意思決定に役立てる仕組み])システムの重要性は認識しつつも、BIシステムの構築に時間がかかるため、利用するときには旬の経営情報を逃してしまう、あるいは、BIシステム自体が大掛かりなため、導入しても使いにくい、使われない、また、システムの構築や維持管理に多大な費用がかかる、など、BIシステムの実現には多くの困難とリスクが伴います。

当社では、DataNature(データネイチャー)発表当初から、エンドユーザーの視点でBIシステムを見つめ続けており、「分析対象、分析視点の変化にいかに素早く、確実に対応し、経営の見える化をどれだけ手助けできるか」、「お使いいただく方々がいかに予備知識なく簡単な操作で分析に集中できるか」という点が、BI製品が確保すべき最も重要なポイントと考え、製品作りに取り組んでまいりました。

DataNatureは、日・米・欧で特許を取得しているBUI(ボタン・ユーザー・インターフェース)をベースに、リテラシーにとらわれず、仕組みの再構築に多大な時間を費やすことなく、経営環境の変化に素早く対応できる機能を実現しており、お使いいただく方々が分析に知恵を集中し、「見える化」そして「わかる化」へとBIの成果をPDCAサイクルにご活用いただくためのツールとして、また内部統制時代のソリューションとしてご提供しております。

1996年の発売開始以来、DataNatureはエンドユーザーの皆さまから高い評価を頂き、現在までスタンドアロン版は7万本、エンタープライズユースの「DataNature/E」は900セットの販売実績があり、販売管理、SFA、生産管理、在庫管理、会計システムなど様々なシステムでのBIソリューションとして、トップマネジメントから現場マネジメントまで幅広く利用されております。

DataNatureは、既に自社で利用しているBIシステムでお困りの方、TCO削減をお考えの方にぜひとも体感していただきたい、プログラムレスで現場にやさしいBIソリューションです。

(注)本文及び別紙に記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社エヌジェーケー

■ ニュースリリースについて

経営企画部 遊佐 英彦 (TEL:03-5722-5700 E-mail:yusa-hd@njkc.co.jp)

■ 製品・技術について

ソフトウェアパッケージ事業部 営業部 マーケティンググループ

山口 雅之 (TEL:03-5722-5766 E-mail:yamaguchi-ms@njkc.co.jp)

URL: <http://www.njkc.co.jp/datanature/>

## バージョンアップの概要

---

### ■ 主な強化ポイント

#### 1) アウトプット(印刷、表示、出力)の強化 (12項目)

Web ブラウザ表示におけるグラフからのドリルダウン機能、PDFファイル出力機能、テンプレートマクロによる Excel ファイル出力といった新機能や、印刷機能の強化、リスト集計機能の強化などお客様からの要望が多かった現場のニーズに対応し、より付加価値のあるアウトプットを提供可能といたしました。

#### 2) 運用管理・セキュリティの強化 (15項目)

パスワード付きのPDFファイルの自動出力や、管理者が指定した条件に基づき任意のメッセージやアップデート情報をクライアントへ配信できるメッセージ配信機能、スケジュールの JOB に登録された内容を HTML 形式で出力できる機能、ユーザー認証の ActiveDirectory 連動、タスク実行結果のメール配信など、運用管理・セキュリティに関連する機能をさらに充実し、多様な運用ニーズへの対応と運用コスト削減を実現します。

#### 3) データハンドリング強化 (5項目)

データを上手に活用するためには、単に基幹システムからデータを抽出するだけでは不十分であり、最終利用ユーザーにとってわかりやすい形に加工・編集を行う必要があります。今回のバージョンアップでは、データ抽出時の条件の拡張やデータ加工・編集における機能追加を行い、より手軽に最終利用ユーザーのニーズにあったデータを提供できるようにしました。

#### 4) 操作性向上 (11項目)

このほか、お客様からのご要望にお応えし、更なる操作性向上をはかるための機能強化を実施しております。

### ■ 販売価格

1) *DataNature/E* ver3.2 : 200 万円(税別)～

2) *DataNature/E* ver3.2 Basic: 110 万円(税別)～

#### 3) オプション製品の追加

①名 称: PDF 出力オプション

②標準価格: 20 万円(税別)

③対応製品: *DataNature/E*、*DataNature/E* Basic

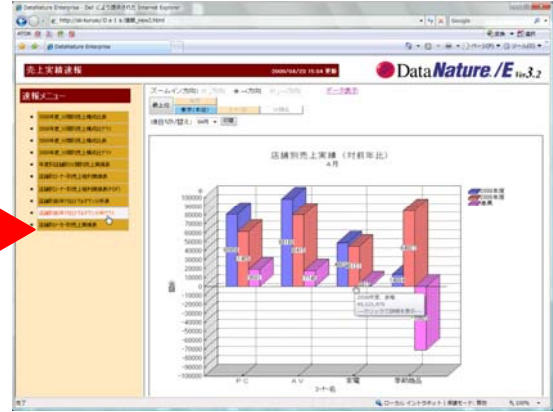
## バージョンアップ版の画面イメージ

### ● ブラウザ表示におけるグラフからのドリルダウン機能

Web レポート機能のブラウザ表示において、従来のクロス集計表からのドリルダウン機能に加え、グラフ表示からもドリルダウン分析が可能となりました。表示されているグラフのデータ表を呼び出し表示することも可能。



■①東京(本店)のグラフ上をマウスでクリック



■②階層が深まり、東京(本店)のコーナー別グラフを表示

### ● PDF ファイル出力機能(自動出力、セキュリティ)

Data Nature の集計結果(リスト集計、クロス集計、グラフ表示)をパスワード付きの PDF ファイルに出力できるようになりました。

また、サーバー管理ツールの簡単な設定だけで、スケジュール機能による PDF ファイルの自動出力や、Web レポート機能による、PDF ファイルのブラウザ表示も可能となりました。



■クライアント機能の PDF 出力設定画面

■サーバー機能で PDF ファイルを自動出力

### ● 階層付きクロス集計の印刷機能、および、印刷機能の拡張

ドリルダウンが行える階層付きクロス集計表を、階層付きの一覧形式で印刷できるようになりました。また、リスト集計の印刷における同一項目名称(繰り返し文字)の非表示や、集計項目単位(小計・中計等)での改ページ機能など印刷機能を強化しました。

● **Excel への自動レイアウト出力**

DataNature の集計結果(リスト集計、クロス集計)を、Excel の罫線や書式に対応し出力、きれいにレイアウトされた形で Excel ファイルとして出力できるようになりました。従来のクリップボード経由の出力に比べ、Excel 出力後の書式調整といった手間が大幅に削減できます。

● **管理者からクライアントへのメッセージ配信機能**

バージョン情報を自動的に判別し、管理者が指定した条件に基づいて任意のメッセージやアップデート情報をクライアントPCへ配信できるようになりました。バージョン管理や各種設定の変更の告知など運用管理がより容易になりました。



● **登録ジョブの HTML 出力機能**

データ抽出設定、データ加工設定、スケジュール設定など、各種登録ジョブの内容を HTML 形式で出力し、ブラウザ上で解りやすく表示できるようになり、システム構築時のドキュメント作成にかかる工数、システムのメンテナンスや設定変更時の運用・管理のコスト削減できます。



**DataNatureとは**

DataNatureは、「すべてのビジネスパーソンが、システム担当者に頼らず、自分でデータ分析して意思決定を行う」という BI 本来の目的を、直感的で操作性の高いボタン・ユーザー・インターフェースで実現し、エンドユーザーの皆様のご好評を得てまいりました。そして、サーバー関連の大幅な機能強化によって、システム構築を担う情報システムご担当者様やシステムインテグレータの皆様方にも、利便性が高く、保守メンテナンス性にも優れた IT 環境をご提供できることとなり、中小企業のみならず、中堅企業、大企業の部門においても、「費用対効果の高い「真に使える BI 運用環境」を実現いたします。

ボタン画面で直感的に表示。また、ボタンを選択することにより簡単に集計やグラフができます。



■ **ボタン画面**  
粗利率が基準を下回る箇所を「注意報」「警報」で表示。

■ **クロス集計画面**  
ドリルダウン分析が可能な階層付きクロス集計。対前年比計算もワンタッチ。

■ **グラフ画面**  
グラフからもドリルダウンが可能、全 44 パターンのグラフが可能。